



第 109 号(平成 30 年5月2日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成 30 年中の山岳遭難発生状況(平成 30 年1月1日~4月 22 日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 30 年	39	8	1	22	20	51	7
平成 29 年	48	11	1	26	22	60	17
前年同期比	-9	-3	0	-4	-2	-9	-10
内)BC	-11	-1	+1	-3	-15	-18	-11

山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	1	2.6%	1			1
	後立山	11	28.2%	3	1	5	14
	その他	3	7.7%				4
	計	15	38.5%	4	1	5	19
中央アルプス	3	7.7%	1			2	3
南アルプス		0.0%					0
八ヶ岳連峰	11	28.2%	3		10	6	19
その他の山岳	10	25.6%			7	3	10
計	39		8	1	22	20	51

態様別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	11	28.2%	6		12		18
転倒	6	15.4%			6		6
病気	2	5.1%				2	2
道迷い	8	20.5%				10	10
落石		0.0%					0
雪崩	1	2.6%	1				1
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	4	10.3%				7	7
不明・他	7	17.9%	1	1	4	1	7
計	39		8	1	22	20	51

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計		
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率	
19歳以下					0	8人 22.2%				3	3	7人 46.7%	3	15人 29.4%	
20代				1	1					2	2				3
30代	1		5	1	7		1			1	2				9
40代	5	0	5	3	13	21人 58.3%			4		4	7人 46.7%	17	28人 54.9%	
50代		1	3	4	8				2	1	3				11
60代	1		3	2	6	7人 19.4%				1	1	1人 6.7%	7	8人 15.7%	
70以上				1	1						0				1
計	7	1	16	12	36		1	0	6	8	15		51		
比率	70.6%							29.4%							

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
3月27日	八ヶ岳連峰 蓼科山	70	男	疲労	無事救出	登山中、疲労により行動不能
27日、茅野市北山の蓼科山登山道で、男性 A さん 70 歳が行動不能となる山岳遭難が発生しましたが、県警ヘリにより救助され病院に収容されました。						
4月10日	北アルプス 乗鞍岳	58	男	疲労	無事救出	登山中、疲労により行動不能
10日、松本市安曇の乗鞍岳三本滝付近で男性 A さん 58 歳が、体調不良で行動不能となる山岳遭難が発生し、遭対協隊員により救助され、病院に収容されました。						
4月17日	北アルプス 白馬岳	30	男	滑落	負傷	単独で登山中、何らかの原因により滑落、負傷
16日から白馬乗鞍岳に入山した男性 A さん 30 歳と連絡がとれないとの届出があり、大町署などが捜索していました。19日、県警ヘリにより北アルプス白馬岳と小蓮華山の間稜線で発見救助されましたが、骨盤骨折の重傷です。						
4月18日	北アルプス 焼岳	25	男	道迷い	無事救出	単独で上高地から登山中、道に迷い行動不能
<p>18日、北アルプス焼岳周辺で行動不能となっていたフランス国籍の男性 A さん 25 歳は、19日、県警ヘリにより救助し、松本市内の病院に収容しました。</p> <p>上記遭難現場の状況</p>						
						
4月20日	中央アルプス 安平路山	45	男	道迷い	無事救出	単独で山頂から下山中、道に迷い行動不能

20日、中央アルプス安平路山に入山して行方がわからなくなっていた男性 A さん 45 歳を、21日、捜索中の県警ヘリが発見救助し、病院に収容しました。



上記遭難現場の状況

4月22日	北アルプス 北穂高岳	35	男	滑落	死亡	単独で登山し、北穂高岳山頂付近で、何らかの原因により滑落
-------	---------------	----	---	----	----	------------------------------

22日、北アルプス北穂高岳で、男性 A さん 35 歳が滑落する山岳遭難が発生し、県警ヘリで救助しましたが、死亡が確認されました。

4月22日	北アルプス 爺ヶ岳	43	女	転倒	負傷	パーティーで下山中、アイゼンで足を負傷し、行動不能
-------	--------------	----	---	----	----	---------------------------

22日、北アルプス爺ヶ岳で、女性 A さん 43 歳がアイゼンで負傷し、行動不能となる山岳遭難が発生し、県警ヘリで救助しました。

山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

登山中に、疲労により行動不能となる遭難が増加しています。登山する前は、必ずトレーニングをするとともに、日程に余裕を持った登山に心がけましょう。また、この時期は、山はまだ気温も低く、喉が渴かないため、水分補給を怠りがちですが、こまめに水分補給をしましょう。ちょっとした疲労が悲惨な遭難につながることを念頭に、入念な登山計画をたてましょう。

4月になり、気温が上昇し暖かい日が続いていますが、まだ、穂高の高い山では雪が多く残っているところもあり、場所によっては、ラッセルを強いられるところもあります。積雪情報を入手して、時間・日程に十分余裕を持った登山計画を立ててください。

春山シーズン中、標高の高い山域では、朝は氷点下、日中は10度以上になるなど、1日の中で気温が大きく変動し、残雪も、硬いアイスバーンから滑りやすい溶けたザラメ雪に変化します。この時期に登山する場合は、こうした気温や雪の状況を適切に判断して行動しなければなりません。また、4月第3週は、単独登山者の遭難が4件発生しました。そのうち2件は、発生当初、行方不明事案として捜索を行った結果、発見救助されたものでした。単独登山は、ルートを一人で判断しなければならず、万一、遭難した際には、救助要請ができないこともあります。なるべく、複数で登山をし、やむを得ず単独で登山する場合は必ず、登山計画を家族や友人に伝えておきましょう。

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝